

第7回インフラメンテナンス大賞

応募要領

令和5年4月

1 インフラメンテナンス大賞の趣旨

国民生活やあらゆる社会経済活動は、道路・鉄道・港湾・空港・電力・ガス等の産業基盤や上下水道・公園・学校等の生活基盤、治山治水といった国土保全のための基盤、その他の国土、都市や農山漁村を形成するインフラによって支えられています。

これらのインフラの老朽化が今後も進行していく中で、インフラによってもたらされる我が国の活力や生活、環境、景観、安全・安心の機能を維持していくためには、インフラのメンテナンスに国全体で取り組む必要があります。

この表彰は、インフラが直面する老朽化やその対策に必要となる担い手不足の問題に対応して、インフラメンテナンスの現場における工夫やメンテナンスを支える活動、インフラメンテナンスの効果的・効率的な実施を実現した研究・技術開発の優れた成果を収めた取組の関係者を顕彰することで、我が国のインフラの機能の維持を目指すものです。

2 表彰の対象

以下のア～ウの3つの部門において、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた効果・実績を挙げた取組や技術開発を行った者を表彰します。

その中でも、極めて顕著な功績であると認められる取組や技術開発を行った者を内閣総理大臣賞として表彰します。

ア メンテナンス実施現場における工夫部門

施設管理者が管理するインフラについて、当該施設管理者自ら又は委任、委託等を受けた企業、団体等が行うメンテナンス活動における工夫（ウに該当するものを除く）

イ メンテナンスを支える活動部門

アの取組以外で、市民活動や人材育成等のインフラ機能の維持に貢献するために行う活動（ウに該当するものを除く）

ウ 技術開発部門

調査・計測手法、計画・設計手法、施工技術、施工システム、維持管理手法（点

検・診断技術、モニタリング技術を含む)、材料・製品、機械、維持管理データ管理におけるインフラメンテナンスを効果的・効率的に改善する研究・技術開発

※本表彰でいう「インフラ」とは、別表に掲げるものをいいます。

※本表彰でいう「メンテナンス」とは、既存インフラの点検、診断、措置（維持、補修、修繕、改良、補強）、記録等の維持管理、運用管理、更新（機能向上を伴う場合を含む。）及び集約・再編を戦略的（合理的、体系的、規則的又は継続的）に実施する行為のことをいい、被災後の復旧のみや、料金徴収のみの業務は含まれません。

3 応募条件

- (1) 応募する取組や技術開発を行った者が自ら応募してください。また、大賞事務局との連絡窓口となる連絡担当者を定めてください。
- (2) 活動グループ（個人、施設管理者、企業、団体等から構成されるグループ）は同一の企業、事業所、部署等に所属している必要はありません。応募者は7名以内とし、その内1名を応募者を代表する者として定めてください。
- (3) 応募する取組や技術開発は、別表に記載する分野の実績を有することを条件とします。実績の時期は問いませんが、過去数年に実績が無い場合は「継続性」や「メンテナンス分野における社会への波及効果、影響」の評価に影響する場合があります。
- (4) 応募する取組や技術開発が、別表に示す分野の複数にまたがる場合は、最大3分野（主分野1つ、副分野2つ）まで応募することができます。
- (5) 同一の応募者が複数の取組や技術開発に応募することは可能です。
- (6) 過去に本賞に応募した取組や技術開発についても、前回の応募時のものと比べて新たな内容又は付加的な事由が存在する場合（取組継続期間の延長も含む）には、前回の応募時の内容を含めて再応募することができます。

4 受賞に必要な資格

- (1) 受賞者及び受賞者が属する企業・団体等の国籍は問いません。
- (2) 既に国家栄典（叙勲、褒章）を受けている方は受賞対象とはなりません。ただ

し、政府機関（府省庁等）又はその他の機関（地方公共団体、業界団体等）による表彰制度の受賞者は対象となります。

- (3) 受賞者の著しい偏りを防ぎ、幅広く受賞機会を確保する観点から、同一の代表者が複数の賞を受賞をすることはできません。また、国家公務員のみで構成される場合は、受賞対象となりません。
- (4) 受賞した応募内容を開示することについて問題が無いことを条件とします。
- (5) 応募内容については、他の特許等を侵害していないこと、又は係争中でないことを条件とします。
- (6) 禁固刑以上の刑歴を有する場合及び社会通念上不適切と思われる場合は受賞対象から除外します。

5 審査及び表彰

有識者で構成される選考委員会を設置し、選考委員会での審査を経て、受賞者の選考を行います。審査・選考にあたっては、取組や技術開発の開始時点又は現時点までにおける次の評価項目とその評価の視点に基づき、総合的に審査します。ただし、大臣賞は主分野としての応募案件から、特別賞及び優秀賞は主分野又は副分野としての応募案件から選考します。

(評価項目)

① 着眼点

新規性・革新性・独創性

② 取組姿勢

積極性・継続性

③ 効果※

生産性・効率性（業務効率、性能・品質、安全性、コスト縮減等）

地域貢献度（インフラ荒廃の防止、地域特性の活用、地域発展や地域コミュニティ維持への貢献等）

④ 外部効果

メンテナンス分野における社会への波及効果、影響（異分野参入、メンテナンス産業の活性化、担い手育成、理念普及、先導的役割、学術・技術の向上、メ

メンテナンス分野における広い普及、幅広い応用)

※評価項目③については、応募内容に応じて、評価項目「生産性・効率性」、「地域貢献度」のいずれかを応募者が選択の上、応募していただきます。

なお、受賞案件の数は以下のとおりです。

内閣総理大臣賞[全部門から1件]

総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、防衛大臣賞：原則各省別の部門ごとに1件（計24件）、及び全部門から情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞1件、計25件以内

特別賞：大臣賞に準ずるものとして特に表彰すべき取組・技術開発がある場合に原則8件以内。

優秀賞：特別賞と合わせて最大32件程度。

6 応募方法

(1) 応募書類等

応募にあたっては、所定の応募書類を作成していただく必要があります。

様式—1（取組概要）

様式—2（取組詳細（共通））

様式—3（取組詳細（その他））

様式—4（詳細（技術開発））※技術開発部門に応募する場合のみ

様式—5（再応募関係資料）※過去に応募した取組が含まれる場合のみ

なお、参考資料として、応募内容を紹介するPR映像を提出いただいても差し支えありません。

ただし、PR映像は各応募につき1つまでとし、時間は2分以内、容量は100MB以内とし、形式はMP4、WMV、MOV、AVI形式※としてください。

※AVI形式はWindows Media Player10で再生可能なものとする

(2) 応募書類等の提出

【WEB フォームよりエントリー】

WEB フォーム上にて応募者情報の登録及び応募書類等のアップロードをお願いします。

以下のホームページよりログインの上、作成した応募書類をフォーム上にてアップロードしてください。

ホームページ : <https://www.im-award-form.jp>

(3) その他

ア 応募に際して手数料等はありません。

イ 提出された書類に不備がある場合、審査対象から除外する場合がありますのでご注意ください。特に、社外秘等のいかなる理由であっても、記載を求める項目・内容について記載の無い場合は書類に不備があるとみなされる場合があります。

ウ 応募者が応募を行ったことにより被った損失・損害については責任を負いかねます。

エ 応募書類は日本語で記載してください。

オ 受賞候補者の審査にあたって、書類内容の確認、追加資料の提出のお願いなど、事務局から応募者に対して連絡をさせていただくことがあります。

カ 応募書類に記載する文書、図表、写真、イラストなどは著作権等に留意し、使用許可が発生する場合は、応募者の責任において必ず許可を得てください（他者の著作物を引用する場合などは出所を明示してください）。

キ 参考資料の PR 映像については、後日、ホームページ等に掲載することがあります。

ク 受賞者発表前の候補者に関するお問い合わせや審査状況に関するお問い合わせには一切お答えできませんのでご了承ください。

7 応募期間

2023年4月25日（火）から2023年6月30日（金）までとなります。

※応募期間中に WEB フォームでの提出を完了。

8 受賞者の発表・表彰式

(1) 受賞者の発表

受賞者の発表は2023年冬頃を予定しています。受賞者及び受賞内容については、連絡担当者あてに通知します。

(2) 表彰方法

受賞者に対して表彰式を行います。受賞者に対しては、表彰状及び楯の授与（表彰状：受賞者に1枚（複数の企業、事業所、部署等から成る場合は連名で共同応募者毎に1枚）及び受賞者の構成員全員に1枚ずつ（原則、個人名宛）、楯：取組や技術開発に対して1つ（複数の企業、事業所、部署等から成る場合は連名で共同応募者毎に1つ））を行います。表彰式等の詳細については追って公表します。

なお、表彰後に禁固刑以上の刑に処された場合及び社会通念上不適切と判断される状況が明らかとなった場合は、受賞を取り消し、表彰状等は返納することとします。

(3) 受賞後の広報・PR等

受賞者の方には、受賞後の広報・PR活動、各種イベント等へのご協力をお願いすることがありますので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課 インフラメンテナンス大賞担当

E-Mail : hqt-taisho@gxb.mlit.go.jp

※原則、上記 E-mail にてお問い合わせください。

これにより難しい場合は、下記電話又はFAXにてお問い合わせください。

(TEL) 03-5253-8912

(FAX) 03-5253-1551

受付期間：2023年4月25日（火）から2023年6月30日（金）

（土・日・休日を除く平日の9:30～17:00 までとします。ただし12:00～13:00 は除きます。）

第7回インフラメンテナンス大賞 応募様式－1
取組概要

	よみがな				
	応募者名				
	(よみがな)				
	応募する取組名				
	応募部門				
	該当する分野	主分野(必須)		副分野1(任意)	
代表者	よみがな				
	企業・団体名				
代表者以外の構成員	よみがな				
	企業・団体名				
	よみがな				
	企業・団体名				

取組のPR

1 取組の概要（受賞時にパネル紹介等において引用）
・当該取組の内容を簡潔に把握できるような概要を記載してください。

2 具体的に優位な点（受賞時にパネル紹介等において引用）
・当該取組について、最も優れている点、最もPRできる点について、簡潔に記載してください。

3 活動状況・活用事例・効果等
・これまでの活動状況・活動事例、具体的な効果について、簡潔に記載してください。

4 図・写真
・活動状況・活用事例・効果等がわかる図や写真を添付してください。（掲載点数は最大3点とし、各データにタイトルなど説明キャプションを加えてください）

第7回インフラメンテナンス大賞 応募様式-2 取組詳細(共通)

1 インフラメンテナンスの取組の背景、目的等

・今回応募の取組を実施した背景や目的等について記載してください。

2 主な受賞歴及び他の表彰制度への応募状況

・当該取組に係る中央省庁、自治体、業界団体等の受賞歴について、受賞されたものをすべて記載してください。

・表彰年月日、表彰名称、表彰業績名、表彰主催機関など、正確に記載してください。

・本応募を除き、現在応募中のものも記載してください。

(記載例)

・(西暦)〇〇年〇月〇日 〇〇〇〇〇〇表彰「〇〇〇〇の取組」(一財)〇〇協会

3 応募案件の詳細

以下の項目について、明記してください。

3-1 着眼点

(新規性・革新性・独創性)

・取組や技術開発の目的、手法、構成等に関して、開発時期又は現時点までにおける、新規性・革新性・独創性についてPRしてください。

3-2 取組姿勢

(積極性・継続性)

- ・応募する分野(主分野1、副分野最大2)における取組や技術開発についての実績に関する具体的な場所、施設名、工事名等を記載してください。
- ・取組や技術開発において、重要な課題、困難な課題等の解決に向けて、積極的に取り組んだ内容、取組や技術開発の成果が活用された実績について、その期間や経緯等がわかるように具体的かつ詳細な記載でPRしてください。
- ・継続的・安定的な効果を確保するために実施している取組について記載してください。
- ・継続性はこれまでの実績について評価しますが、今後の計画についても、契約や公表等によりその内容や期間等が実効性があると認められる場合には、継続性があるものとして評価します。
- ・実績の時期は問いません。
- ・施主(発注者)がいる場合はあわせて記載してください。
- ・応募内容と分野の実績は一致するようにしてください。
- ・実施現場以外の研究・実験・試験施設等での実績やインフラメンテナンス分野以外での実績は認められませんのでご注意ください。
- ・実績の記載が無い場合(実績が確認できない場合も含む)や応募内容と分野の実績が異なる場合、当該分野において受賞対象となりませんのでご注意ください。

主分野	

副分野1	

副分野2	

3-3 効果

・応募内容において重視する評価の観点を以下の2つから1つを選択してチェック☑を付けてください。

- 生産性・効率性
 地域貢献度

(生産性・効率性)

・取組や技術開発について、その目的に照らし、業務効率の改善、安全性の向上、性能・品質の確保、コスト縮減等、生産性・効率性に関して、どのような効果があったか、具体的かつ詳細な記載でPRしてください。

(地域貢献度)

・取組や技術開発において、管理者の維持管理の質の向上、地域活性化や地域コミュニティの維持の実現等、どのように地域に貢献したか、具体的かつ詳細な記載でPRしてください。

・地域住民や地元企業等と連携している場合は、連携している内容について具体的かつ詳細に記載してください。

3-4 外部効果

(メンテナンス分野における社会への波及効果・影響)

・取組や技術開発が他の施設管理者や他地域への波及、市場における普及、メンテナンス産業の活性化、多様な主体との連携の拡がり、担い手育成、学術や技術の発展、メンテナンスの理念の普及等にどのように貢献しているか具体的かつ詳細な記載でPRしてください。

・取組や技術開発が、技術者育成、技術力の向上、担い手の質の担保等について、どのような効果・影響があるか具体的かつ詳細な記載でPRしてください。

・当該取組への各参加者の関与の状況、販売・施工実績等について記載してください

4 概算費用について

4-1 本応募案件の取組や技術開発に要した概算費用

概算費用について、「①総額費用」「②単年度費用」のいずれかに記入してください。

※①は、複数年に渡る研究開発や新たな手法・体制の導入等の場合を想定しています。

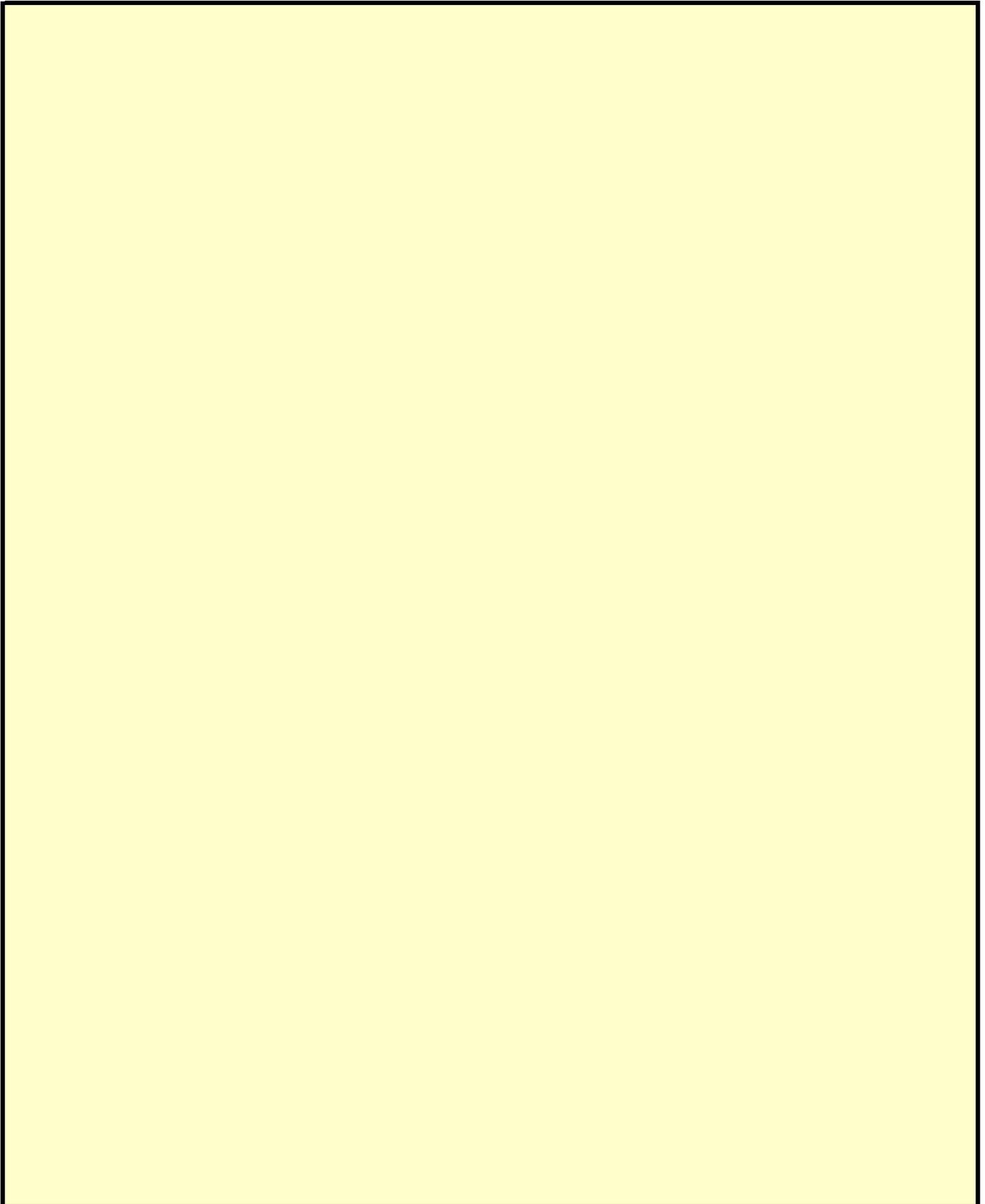
※②は、定期的な市民活動や人材育成等の場合の直近の単年度概算費用を想定しています。

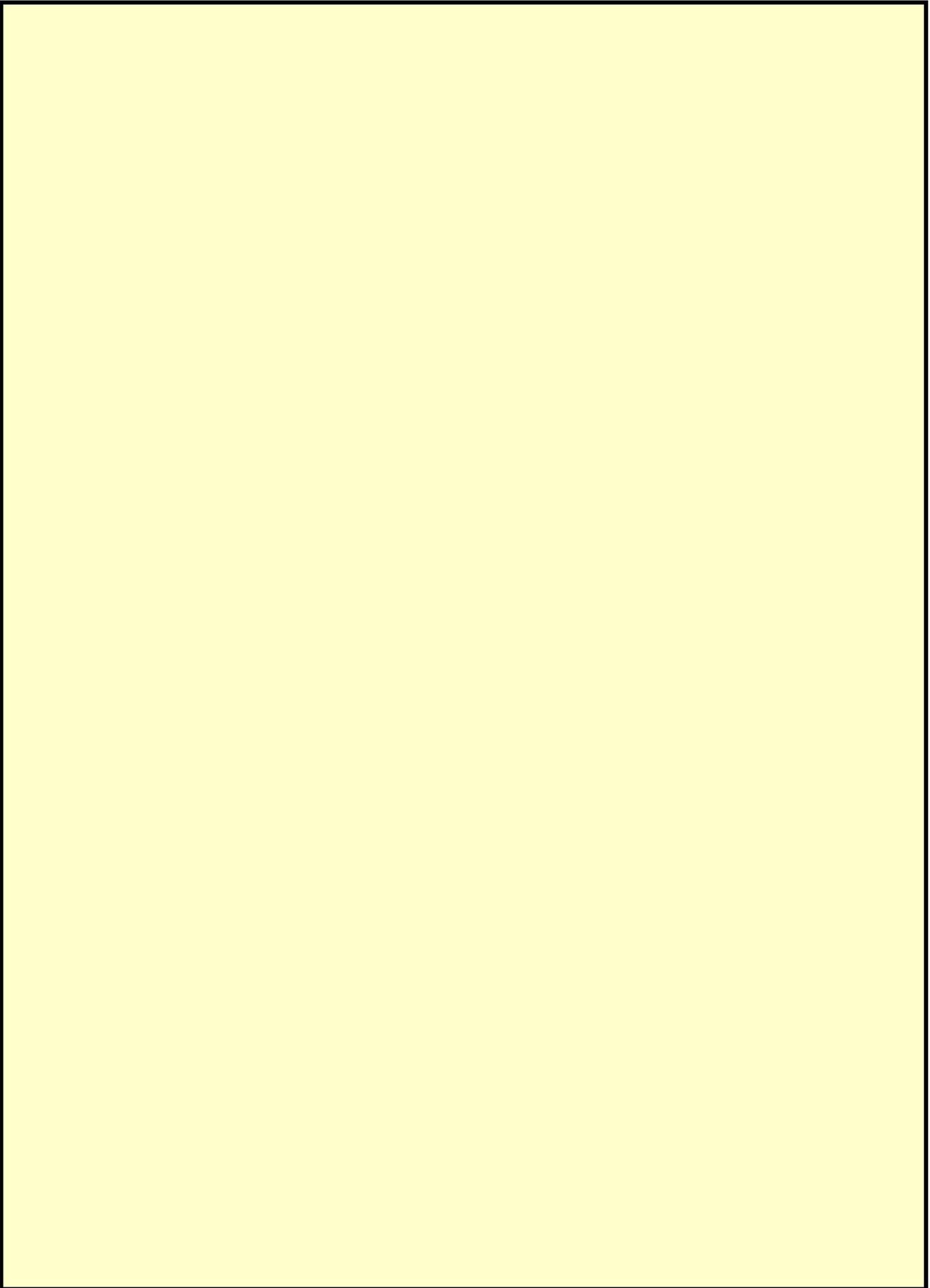
①総額費用(円)		②単年度費用(円/年)
期間	費用	

第7回インフラメンテナンス大賞 応募様式－3
取組詳細(その他)

<取組の詳細>

- ・当該取組の具体的な情報がわかる外形的な情報(仕様、カタログ、図面、写真等)について添付してください。(最大2ページまでとし、データにタイトルなど説明キャプションを加えてください)





実用新案権	<input type="checkbox"/> 取得 <input type="checkbox"/> 出願中・公開中 <input type="checkbox"/> 無し		
	件名		
	考案者		
	出願人		
	日付		
	番号		
	<input type="checkbox"/> 取得 <input type="checkbox"/> 出願中・公開中 <input type="checkbox"/> 無し		
	件名		
	考案者		
	出願人		
	日付		
	番号		
	その他	<input type="checkbox"/> 意匠権 <input type="checkbox"/> 商標権 <input type="checkbox"/> その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利	
		件名	
出願人			
日付			
番号			
<input type="checkbox"/> 意匠権 <input type="checkbox"/> 商標権 <input type="checkbox"/> その他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利			
件名			
出願人			
日付			
番号			

5 技術開発の体制

・応募者が技術開発の主体であることがわかる体制図(企画、設計・デザイン、実証、共同研究等の役割及び委託関係がわかるもの(データ入力、印刷など創造性に関係無いものは除く。))を記載、又は添付してください。(掲載点数は1点とし、データにタイトルなど説明キャプションを加えてください)

第7回インフラメンテナンス大賞 応募様式-5
再応募関係資料

1 過去のインフラメンテナンス大賞応募時の取組名

--

2 応募内容の変更・改良点等

過去の応募時の内容との変更点が分かるように、変更した内容について記載してください。

過去の応募時の内容	今回の応募内容